

41日間、984時間の使いみち

校長 森 恵子

7月19日（土）から、子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。8月28日（木）までの41日間、984時間。終わって振り返ればあっという間かも知れませんが、この期間を長いと感じるか、短いと感じるかは過ごし方次第かと思います。

学校生活では、ご存じの通り、45分間の単位で学習や活動が進められています。学習内容や活動内容によっては「えー、もう少し時間とって!」「まだ終わっていないよー（完成してないよー）」「時間切れか・・・」という子どもたちの声を耳にします。決められた時間に物事をやり遂げる集中力を育てるためには必要なことだと思う反面、もう少し時間を与えることが出来たら別な発想が出来たり、発想の広がりが期待できたりと満足感や成就感を今よりもっと高めることができるかも知れないと思うことがあります。そんな意味からも夏休みは、思いっきり時間を使って自分の思いを全て出し切れるようなことをさせてほしいと思うのです。勿論、際限なく時間をかけるということではなく、見通しを持たせ、計画的に進めることを忘れてはいけません。

夏休みに入る前は、あれもこれもと多くの計画を立てていると思いますが、1つでいいのです。夏休みが終わったときに「今年は〇〇が出来た（やれた）」とか「〇〇をやって楽しかった!」など満足感のある子どもの声を聞くことが出来たら素晴らしいですね。事故や怪我、病気などない、楽しい思い出が残る夏休みが過ごせますよう願っています。

最後になりますが、保護者の皆様、地域の皆様、平成20年度前期前半も大きな事件や事故もなく終えることが出来ました。日頃からの本校の教育活動につきまして、ご理解・ご協力をいただいているお陰です。感謝申し上げます。ありがとうございました。